

## 第23回多職種勉強会 アンケート結果

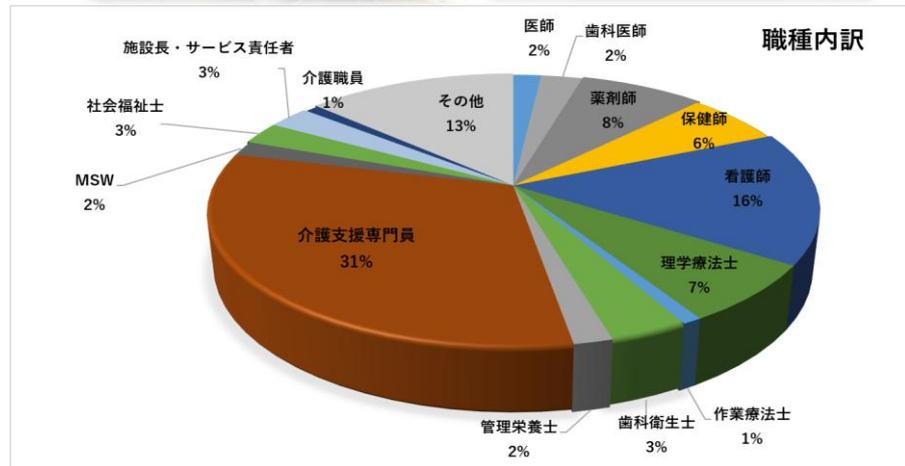
### 1.開催概要

|      |                                 |
|------|---------------------------------|
| 開催日  | 令和8年2月26日(木) 19時～20時45分         |
| 開催場所 | オンライン開催(Zoom)のみ(配信・市役所地下会議室)    |
| テーマ  | 在宅要介護者への災害支援                    |
| 参加数  | 114アカウント(事務局含む最大時) / グループワーク48名 |

今回は「在宅要介護者への災害支援」をテーマに勉強会を開催し、114組の方々にご参加いただきました。話題提供は「災害が発生したとき私たちは…」という内容で3名の方から発表いただきました。リングの会(一人ケアマネ有志の会)から伊藤準康氏、三重県介護支援専門員協会松阪支部から秦智浩氏、松阪地区訪問看護ステーション協議会から市川千恵子氏に、各団体で考えている災害時の動きを教えてくださいました。災害時の他の職種の考えや動きを知ることができる貴重な時間となり、職能ごとの協力体制をはじめ、多職種が連携して動くことも非常に大切であることがわかりました。参加希望制のグループワークは48名にご参加いただきました。異なる職種の方々と、災害時について一緒に考え、意見交換や質問をすることができました。平時からの連携も大切にして、今後も多職種で災害について考え続けたいとの意見もいただきました。これからも勉強会を通して少しでも顔の見える関係づくりができるよう、努めてまいります。お忙しい中ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

### 2.参加者内訳

|             |     |
|-------------|-----|
| 医師          | 2   |
| 歯科医師        | 3   |
| 薬剤師         | 9   |
| 保健師         | 7   |
| 看護師         | 18  |
| 理学療法士       | 8   |
| 作業療法士       | 1   |
| 歯科衛生士       | 4   |
| 管理栄養士       | 2   |
| 介護支援専門員     | 36  |
| MSW         | 2   |
| 社会福祉士       | 3   |
| 施設長・サービス責任者 | 3   |
| 介護職員        | 1   |
| その他         | 15  |
| 合計          | 114 |



### 3.グループワーク参加者内訳(参加希望制)

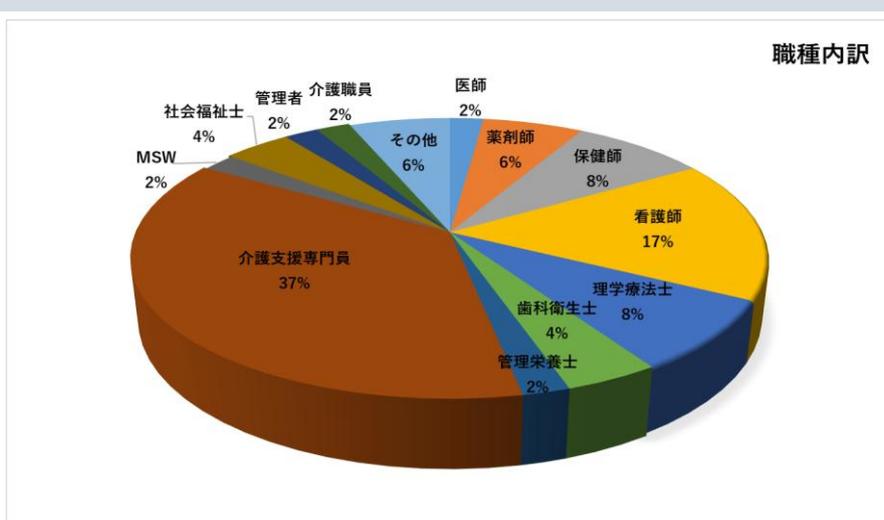
|         |    |
|---------|----|
| 医師      | 1  |
| 薬剤師     | 6  |
| 看護師     | 7  |
| 理学療法士   | 5  |
| 歯科衛生士   | 3  |
| 管理栄養士   | 2  |
| 介護支援専門員 | 18 |
| MSW     | 1  |
| 管理者     | 2  |
| 作業療法士   | 1  |
| 介護職員    | 1  |
| その他     | 1  |
| 合計      | 48 |



#### 4.参加者アンケート結果(49回答)

##### ①職種を教えてください

|         |    |
|---------|----|
| 医師      | 1  |
| 薬剤師     | 3  |
| 保健師     | 4  |
| 看護師     | 8  |
| 理学療法士   | 4  |
| 歯科衛生士   | 2  |
| 管理栄養士   | 1  |
| 介護支援専門員 | 18 |
| MSW     | 1  |
| 社会福祉士   | 2  |
| 管理者     | 1  |
| 介護職員    | 1  |
| その他     | 3  |
| 合計      | 49 |



##### ②話題提供についての感想

###### ①リングの会(一人ケアマネ有志の会) 伊藤準康氏

|         |    |
|---------|----|
| とてもよかった | 36 |
| よかった    | 13 |
| 合計      | 49 |

###### ②三重県介護支援専門員協会松阪支部 秦智浩氏

|         |    |
|---------|----|
| とてもよかった | 28 |
| よかった    | 21 |
| 合計      | 49 |

###### ③松阪地区訪問看護ステーション協議会 市川千恵子氏

|         |    |
|---------|----|
| とてもよかった | 29 |
| よかった    | 20 |
| 合計      | 49 |

##### ③グループワークについての感想(複数回答可)

|               |    |
|---------------|----|
| とてもよかった       | 18 |
| よかった          | 11 |
| 話しやすかった       | 4  |
| 次回以降はやめてもらいたい | 0  |
| 次回以降も取り入れてほしい | 2  |
| 話しにくかった       | 0  |
| 操作が分かりづらかった   | 0  |
| 合計            | 35 |

#### ④今回の勉強会で印象に残ったことや今後に活かしたいこと

##### 医師

・在宅医療を提供している医療機関も今年の診療報酬改定でBCP作成が義務化されます。BCP作成にどのような内容を取り入れるか考慮中ですが、他職種でどのようなBCPを作成しているかが参考になりました。

##### 薬剤師

・薬剤師でもBCPを作成に義務化がなされましたが、自社では作っただけになっていると感じています。本勉強会にて他の職種でも手探りな状態である中、なんとか試行錯誤を行っていること知り、自社では試行錯誤がないこと踏まえるとまだまだ至らない点だなと知りました。有事の際に活用できるよう日々の連絡体制構築、練習など自社内でも活かすことできるのではないかと思います。

・災害マップで患者さんの家を家確認しようと思いました。

##### 保健師

・訪問看護ステーションでの取組で利用者宅をハザードマップにマッピングしているとの報告があった。スタッフ自身も訪問先にマッピングをしていくとのこと。どこにいるのかが一目で把握できるようにしているとのこと。また、サービス利用者自身の意識づけも大切だということ。避難所はどこなのか、どのような場所なのか、自分自身の薬を5日分くらいは備えておくことなどなど、訪問時などに確認しているといわれていた。自助を支援することも大切だと感じた。

・同じ介護支援専門員であっても、一人ケアマネと事業所所属とは立場が違い、もしもの場合にそなえる取り組み姿勢も違うということがよく理解できた。一人ケアマネの方の取り組みは具体的であり、進んでいると感じた。

##### 看護師

・地域での連携が大切、自分たちの事業所では何ができるか、考えて、活かしていきたい。

・実践的な災害対策の必要性を感じた。見直しをしたい。

・Google chatの活用と毎月の訓練  
災害発生時フローチャートの活用  
スムーズに情報提供できる準備

##### 理学療法士

・グループワークで、利用者確認について多職種の考えが聞けてよかったです。

・病院外でのBCP策定の具体的内容を伺えて勉強になりました。

・在宅生活をしている利用者の安否確認など、初動対応をどのようにしていくか考えていく必要があると感じた。

・今回の内容を事業所に持ち帰り、実際の災害が起きた時のシュミレーションをできるようにしていく。

##### 歯科衛生士

・3名の方の話題提供が大変勉強になりました。各事業所の対応などを知っておくのは重要です。災害に関する勉強会、シミュレーション、訓練、有事にも多職種連携ができるよう備えをしていきたいです。

##### 管理栄養士

・災害対策に向けて、それぞれの所属、団体、協議会において取組がなされていることがよくわかりました。また、話題提供後、グループワークでは、各々が自身の所属の役割等を振り返り、今後、取り組まなければならないことに気づかされました。話題提供やグループワークに市行政が参加されていなかったため、情報発信をしていただくとよかったですと感じました。

##### 介護支援専門員

・一人の利用者に対しての情報の確認など、リングの会では役割分担があるとの事で、とても参考になりました！

・業務時間内や時間外、支援中や移動中に分けてのフローチャートがよりわかりやすく、対応しやすいと思いました。

・いろんな各事業所で災害を想定して見えることがわかって良かったです。がしかし実際に災害が起こった時どこまで支援ができるのか？不安があります。とにかく自分自身や家族の安全を第一に考えて行動することが利用者の支援だと思いました

・災害時の連携について再度検討し実際にやってみる大切さを改めて学ぶことが出来ました。

・それぞれの団体がそれぞれに努力されていることがわかり、少し安心しました。介護支援専門員は連携の要なので、組織力を活かした活動に期待したいと思います。

・皆さん、災害に対して危機感を持っているものの、まだまだ現実的ではないため、実際使えるBCPを作成できればと思います

・リングの会の活動に関して平時よりSNSを活用して連絡体制が取れていることが印象に残った。

・他職種のBCPに対する対応状況が少しずつ違うことがわかり、いいと思う所は取り入れたい。災害時どう動くかフローチャートやマニュアルがあると安心して仕事ができる。

・グループワークにて、車移動する場合の燃料の事が話題に上がり、考えていない事に気付きました。ガソリンスタンドと提携したりする事例もあるようで必要に応じて検討しなければと思いました。日頃できる事としては、ある程度ガソリンが減ったらこまめに給油する事だと思いました。他グループの発表で、職員が外出する際に地図にピンをさしておくという事例を聞き、参考になるとと思いました。

・その時に計画通りに動けるかどうかはわかりませんが、日頃やっていない事は急にはできないと思うので、訓練をする事が大切だという事がわかりました

・災害時の対応として印象に残ったことは、自分一人ではできる事に限りがあり、連携して複数人で対応することが必要であると言うことが改めて実感しました。そのためには、出来るだけ多くの方と普段からコミュニケーションをとり有事の際に対応できる人脈を築いておきたいです。

・一人ケアマネさんもチームで動かれている事で心強く安心して仕事ができる事が伝わりました  
有事の際は指示待ちにならないようBCPの確認見直しをしていきます

・普段から横のつながりを築く事が必要だと思う

・担当者会議で、議論する。薬のストック5日分。利用者への意識づけ。日頃からのシュミレーション訓練の実施。

・自分自身の命を守る、支援者が被災してしまうと要援護者を助けられなくなる、このスタートラインは一致していた事を確認できて良かった。その後、どのように動くか、情報共有するか、行っているシミュレーションが災害時に適しているかなど、もう一度確認していく必要がある。専門職が災害が起こった時の事を考えるだけでなく、要援護者(利用者さん、患者さん)自身の意識を高めるとの意見も聞けて良かったと思います。実際、能登の被災の時に、医師、看護師、歯科衛生士、薬剤師、介護士、ケアマネなどがどのような支援をして、どのような準備が必要なのかを学ぶ機会を作れると良いとの意見もあり、来年度は更に具体的な方法を考える機会を作ってほしいと思いました。

## MSW

・自分の命をまず大切に守るということは、誰かをすぐ救助できないという究極の選択を迫られることがあるという話にびっくりしました。

## 社会福祉士

・災害時、支援者として無駄な動きがなくても済むようなシステムを構築してほしい(誰がどこの避難所にいるかといった情報の一括管理やその共有の仕方を事前に確認しておく必要があるのでは・・・)

## 介護職員

・介護者自身の体力や精神的負担についても多くある中で支援に回るのは困難な事だと思うが、直面してみないとわからない部分はある。

## その他

・有事の際の連携と出来ることなら、連携訓練をしてみたい。

・一人の方が、「いろいろな事業所等に絡んでいる人に何人もいくこともあるかもしれない」という発言があったのを聞き、少しでも手がほしい時に重ならず一人でも多くの方に繋がれることができるといいと思いました。

## ⑤今後開催してほしい勉強会のテーマについて

・今回の災害時の対応や備えについて実際に東日本や能登などで災害を経験しこういう対策をしているという方のお話がきけたらと思います。費用もかかりますかね

・日常における多職種連携の今後の展望等の話題

・ハラスメント。特にカスハラ対策。

・災害に関して、今回よりもっと具体的な方法について、学ぶ機会を作ってほしいです。利用者や家族からのカスハラ対応について、考えてほしいです。カスハラなどは、ケースを断る、終了する方法は研修がありますが、家族からのカスハラだった場合は、ケースが終了すると利用者が困るので、そういった時の対応なども研修があると有難いです

・介護と直接的に関係がないかもしれませんが、職場の人間関係や組織論のようなテーマも良いかなと思います。

・ここ最近、ターミナルで急ぎの対応を求められることが多いので、そういった方の対応の知識が得られる勉強会があれば参加したいです。

・医療的な事を取り上げてほしい

・情報の共有方法

・もう一度、防災。

・個人情報に注意した情報共有、連携の仕方(災害時含む)

・今回のような災害時の事業所間の情報共有は現実的で続けてほしいです。

・認知症に対する勉強会を希望します

・ヘルパーさんや、訪問入浴について取り上げてほしい！

⑥第22回多職種勉強会(2025.8.8開催)に参加された方へ

(1)勉強会参加後に現場での意識や行動の変容はありましたか

|        |    |
|--------|----|
| 特に変化なし | 13 |
| 変化があった | 4  |
| その他    | 1  |
| 合計     | 18 |

(2)変化があった方、その他の方はどのような変化ですか。

- ・新しい情報共有の手段や感染対策に対する意識が変わった事を再認識できました。自分たちの業務には臨機応変さと、日々、アップデートしていく必要があると改めて感じました。
- ・管理栄養士・栄養士職の分野を超えた連携について考える機会となり、今年度、関係者とともに研修会の開催や嚥下調整食に関する取組をしました。
- ・コンピテンシーについて考えるようになりました。
- ・連携の重要性を再認識し、三重県理学療法学会でも連携の重要性について発表することができました。今後も連携できるように精進していきます。
- ・弱まった部分と強化された部分があると思う